

北関東で 大型・重量物 保管サービス

五十鈴グループ



「五十鈴倉庫」内の空きスペースを活用
(栃木県小山市)

地の利生かし「中継デポ機能」提供

潜在ニーズ捕捉、事業拡充へ

五十鈴グループ（CEO・鈴木勝氏）は、北関東地区で大型・重量物の保管サービス事業に本格的に乗り出す。グループの五十鈴倉庫（栃木県小山市横倉新田）が所有する倉庫建屋内の一角約540平方メートルを、荷役設備を有した「マルチスペース」とし、建築資材や産業機械装置など単重20トまでのさまざまな荷物の一時保管ヤードとして整備した。ニーズに応じて入出庫や中継デポの機能も担う。

五十鈴倉庫は、高炉メーカーの延長ヤード機能を有しており、自動車や電機、建材向け用途の冷延・酸洗・めつき品など原コイルを専門に保管業務を行う。

足元の域内薄板需要の縮小や、物流業界における脱炭素化促進に伴う高炉メーカーの海上輸送へのシフトなどを背景に、原コイルの荷扱量が減少。この影響によって生まれた大型倉庫内の空きスペースを、

域内需要家へのPR活動をすでに実施しており、引き合いも多く、グループ内の運送事業

会社ワーレックスをはじめ協力先とも連携することで配送ニーズにも応える。

五十鈴グループでは、かつてコイルセンター事業を行っていた旧高崎サービスセンター（群馬県玉村町）の跡地を整地し、構内を分割して賃貸するスペース活用事業で薄板以外の重量物荷扱いの実績とノウハウを重ねた。この経験と同じ北関東で水平展開し、大型・重量物保管ビジネスとして確立することで、事業の拡充・発展につなげていきたい考えだ。

スペースの有効活用を目的とした賃貸・保管・中継デポ事業としては、東京・青梅の青梅サービスセンター内でも実施しており、五十鈴グループの新たな収益源として成長軌道に乗せつつある。